

# 学校だより



令和5年6月30日  
横浜市立二谷小学校  
校長 矢島 孝幸

## 「一人一人を大切に」

学校長 矢島 孝幸

4月がスタートして、3ヶ月が終わろうとしています。プールからは元気な声が聞こえてきます。日々暑さを感じ始め、夏が近づいてきたことを実感します。あと3週間で夏休みを迎えます。子どもたちは夏休みをきっと心待ちにしているでしょう。どの子にとっても楽しい夏休みになることを願います。

さて、私の失敗を少しお伝えします。朝、正門で子どもたちを迎えている時のことでした。一人の子どもが登校してきたので、「今日の調子はどう？」と声をかけました。その子は、私を見つめながら「あまり調子よくない。」と、返してきました。私は、元気づけようと思い、「大丈夫だよ。今日も頑張ろう！」と伝えました。その子は、5、6歩進んでから、私の方を振り返り、「頑張ってるんだけどね。」と一言残して昇降口に向かっていきました。私は、その言葉を聞いて、自分の声かけは、大失敗だったと反省しました。もう、お分かりの通り、子どもたちは、学校へ登校する時点で頑張っています。その気持ちをしっかりと受け止めて、意欲をもって過ごせるような声かけをしなくてはいけないのに、やる気を削いでしまうような言葉をかけてしまいました。その子の気持ちを考えると今でも申し訳ない思いで一杯です。一人一人を大切にするという基本的な対応ができなかった自分が情けなく、恥ずかしいです。今後は、**子どもの気持ちに寄り添ったかわり**を忘れないようにしていきたいです。

今年度、「誰ひとり取り残さない」一年間にしていこうと教職員で共通理解をして教育活動を進めています。その中で、『スマイル学習ルーム』の充実を進めています。

この教室は、誰もが安心して、落ち着いて学習できる教室です。特別支援コーディネーターが全体をコーディネートし、脇田教諭が個の指導・支援をしています。学習内容や進め方は、一人一人に応じて違いますが、どの子も自分に合った学習に取り組んでいます。脇田教諭と一緒に学習してい



る姿から安心して過ごしている様子が伝わってきます。学校は、一人も取り残してはいけません。そして、**誰もが安心して、楽しく、豊かに**過ごせる場となることを目指しています。どの子も必ず得意・不得意があります。不得意なことを少しでも軽減できるような環境づくりをしてあげることが、子どもの不安を取り除くことにつながります。私たちは、常に

一人一人に目を向けて、その子に応じた指導・支援を忘れないようにしていきます。その実現に向けて『スマイル学習ルーム』を大切にしていきます。そして、すべての教育活動にスマイル学習ルームの考え方を生かしていきたいと思います。**一人一人を大切に**することを基本とした学校にしていきたいと思います。誰にとっても満足できる学校となるよう、教職員一同で力を合わせていきます。

月末から夏季休業です。夏休み明けも笑顔で元気な姿を楽しみにしています。